

日本政治思想史ゼミナール

後 藤 総一郎

わたしたちのゼミの基本方針は、今日における政治的課題に深い関心を寄せつつ、それを毎年度の共同研究への強いモチーフとしながら、近代日本の思想過程のなかにその答を求めようとして、その歴史と理論を実証研究を通して獲得しようとしている。そしてその研究過程を通して、なによりも求められるものを、確かな歴史意識を宿した品位と勇気のある人間性豊かな人間像の形成にしている。

なお、ハードな共同研究のなかで構築されたささやかな論稿の、ここ5年間の、わがゼミの自主論文集『思想史研究草稿』（タイプ印刷）の年次別テーマを念のために記しておくこととする。

第1号（1978年）「超国家主義者の思想的水源」

第2号（1979年）「明治国家の地方理念」

第3号（1980年）「民衆精神史の基層」

第4号（1981年）「地方の思想史」

第5号（1982年）「民衆と学問—伊那自由大学の思想と行動」